

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校  
TEL 048-831-5397  
FAX 048-835-1357  
第14号

校訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和4年3月25日(金)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 『パスワード』

校長 小熊 誠

本日で令和3年度207日が終了です。保護者・地域の皆様のお蔭をもちまして、大きな事故もなく、修了式を迎えられそうです。ありがとうございました。しかし、「まん延防止等重点措置」が解除になったといえ、今までの当たり前が戻ってきたわけではありません。大原は、令和4年度も、生徒たちの、健康と安心・安全を第一に、主役である生徒たちが輝く場面を少しでも多く設定していきたいと考えています。どうぞ今まで通りの温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。皆様におかれましても、お体には十分御留意ください。

3月15日、第68回卒業証書授与式。3年生が大原の誇りを胸に立派に卒業していきました。各教室は美術部による思いの詰まった黒板アートで飾られ、生徒たちの気持ちは高ぶり、魂が揺さぶられる素晴らしい式となりました。「生徒の、生徒による、生徒のための学校」で学んだ彼らは、今度は「自分の、自分による、自分だけの人生」を見つけ、挑み、楽しんでくれるはずです。20日には、現生徒会長と前部活動代表の2人が、文部科学省が主催する「学校デザインプロジェクト」に参加しました。日本全国から選出された101名の参加者とともに、これからの学校の在り方について約2時間半、熱く語り合いました。自分だけではなく、仲間が、教職員が、保護者・地域の皆様が、全て幸せになるためには、何が必要で、何ができるのか。まさに全国版「大原前進プロジェクト」です。いよいよ大原は、名実ともに全国区となりました。大原の「メガ進化」が始まります。御期待ください。

さて、この春休みに皆様と一緒に考えたいことがあります。それは、携帯電話についてです。正直携帯電話は、有効に活用すればとても便利です。しかし、危険なトゲも潜んでいます。ちなみに私の家では、息子に小1年から携帯を与えていました。カミさんは私と同業者のため、登下校時はいつも息子一人でした。登校時息子は、携帯で「行ってくるね」と私たちに連絡し、一人で玄関を締め、ポストに携帯を入れて行きます。下校時は、ポストから携帯をとり、玄関を開け「帰ってきたよ」と連絡してきます。時には、直接の電話ではなくメールのときもありました。何かあったときでした。私たち家族にとって携帯は無くしてはならないコミュニケーションの大事な一部だったのです。今息子は、中2です。スマホも持っています。しかし、ゲームもネットも繋げていません。スマホは相変わらず大事なコミュニケーションの一部です。息子がネットで何かを調べたり、見たりしたいときは、カミさんや私のスマホを自由に使います。息子のスマホにはクラブチームの連絡が入ってくるので、カミさんも私も自由に見ます。すなわち、3人のスマホの「パスワード」は一緒なのです。今は私たち家族の間では何の不自由もありません。いつ息子が「パスワード」を変えようと言ってくるのか、興味もあり、不安でもあり、どう答えたら良いのか答えが見つかりません。成長の過程で、必ず親にも言えないこと「秘密」が出てくるはずです。しかし、全部が「秘密」の訳ではないと思います。「パスワード」とはいったい何なのでしょう？令和4年度、安全で有効な使い方を皆で考えていきましょう。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校